

平成 30 年度第 1 回練馬区立美術館運営協議会 次第

日時：平成 30 年 11 月 29 日（木）午前 10 時

場所：サンライフ練馬 研修室

委嘱状交付

挨拶

- 1 会長・副会長の選出
- 2 平成 29 年度事業報告
 - (1) 展覧会事業
 - (2) 教育普及事業
 - (3) 美術作品の収集事業
 - (4) 施設利用状況
 - (5) ぐるっとパスの利用状況
 - (6) 広報活動と反響
- 3 平成 30 年度事業計画（中間報告）
 - (1) 展覧会事業
 - ① 戦後美術の現在形 池田龍雄展—楢円幻想
 - ② 生誕 120 年 中村忠二展 オオイナルシュウネン
 - ③ 芳年—激動の時代を生きた鬼才浮世絵師
 - ④ 笠井誠一展 一形の世界—
 - ⑤ 人間国宝・桂盛仁 金工の世界—江戸彫金の技—
 - ⑥ ラリック・エレガンス
宝飾とガラスのモダニティ—ユニマットコレクション—
 - (2) 教育普及事業
- 4 その他

平成30年度

第1回 練馬区立美術館運営協議会

練馬区立美術館

(平成30年11月29日)

平成 30 年度第 1 回練馬区立美術館運営協議会資料 目次

練馬区立美術館運営協議会委員名簿	1
練馬区立美術館運営協議会条例	3
1 平成 29 年度事業報告	
(1) 展覧会事業	5
(2) 教育普及事業	
①平成 29 年度教育普及事業実績	7
②平成 29 年度博物館実習受入実績	17
③平成 29 年度美術館サポーター活動実績	18
(3)美術作品の収集事業	
①平成 29 年度美術作品の収蔵状況	19
②平成 29 年度収蔵品貸出一覧	20
③美術館収蔵品データベースに対する反響	21
(4)施設利用状況	22
(5) ぐるっとパスの利用状況	23
(6) 広報活動と反響	24
2 平成 30 年度事業計画 (中間報告)	
(1) 展覧会事業	33
①戦後美術の現在形 池田龍雄展—楢円幻想	34
②生誕 120 年 中村忠二展 オオイナルシュウネン	35
③芳年—激動の時代を生きた鬼才浮世絵師	36
④笠井誠一展 —形の世界—	37
⑤人間国宝・桂盛仁 金工の世界—江戸彫金の技—	38
⑥ラリック・エレガンス 宝飾とガラスのモダニティ—ユニマットコレクション—	39
(2)教育普及事業	40

第 17 期 練馬区立美術館運営協議会委員名簿

	氏 名	役 職
学識経験者	タカハシ コウジ 高橋 幸次	日本大学芸術学部美術学科教授
	アオキ シゲル 青木 茂	明治美術学会会長
	イズイ ヒデカズ 伊豆井 秀一	埼玉県立近代美術館 元専門員兼学芸員
	サトウ ヤスヒロ 佐藤 康宏	東京大学教授
	シマダ ノリオ 島田 紀夫	実践女子大学名誉教授
	ナイトウ マサト 内藤 正人	慶応義塾大学教授
	マブチ アキコ 馬淵 明子	国立西洋美術館長
練馬区議会 議員	たかはし シンゴ たかはし 慎吾	区議会議員
	ハシモト 橋本 けいこ	区議会議員
	コウグチ 高口 ようこ	区議会議員
	シライシ コ 白石 けい子	区議会議員
公募区民	スドウ アサヨ 須藤 麻世	公募区民
	サイトウ ノリコ 齋藤 宜子	公募区民
	ワタナベ ヒトミ 渡邊 瞳	公募区民
美術団体関係者	ヨシダ ミゾウ 吉田 巳蔵	練馬・文化の会代表
	シマダ コウイチロウ 島田 紘一呂	練馬区美術家協会会長
学校教育関係者	エガワ サトシ 江川 誠志	区立中学校校長
	タカハシ フミキ 高橋 史樹	区立小学校主任教諭

練馬区立美術館運営協議会条例

昭和60年10月8日

条例第45号

(設置)

第1条 練馬区立美術館（以下「美術館」という。）の運営方針および事業計画を協議するため、練馬区立美術館運営協議会（以下「協議会」という。）を置く。

(所掌事項)

第2条 協議会は、区長の諮問に応じてつぎに掲げる事項について審議し、答申する。

- (1) 美術館の運営方針に関すること。
- (2) 美術館の事業計画に関すること。
- (3) 前2号に掲げるもののほか、区長が必要と認める事項

2 協議会は、前項各号に掲げる事項について、区長に意見を述べることができる。

(定数)

第3条 協議会は、委員19人以内をもって組織する。

(委員)

第4条 委員は、つぎの各号に定めるところにより、区長が委嘱する。

- (1) 学識経験者 8人以内
- (2) 練馬区議会議員 4人以内
- (3) 区民 3人以内
- (4) 美術団体関係者 2人以内
- (5) 学校教育関係者 2人以内

2 前項第3号に規定する区民は、公募により選任するものとする。

(任期)

第5条 委員の任期は、2年とする。ただし、委員に欠員が生じた場合における補充委員の任期は、前任者の残任期間とする。

2 委員は、再任されることができる。

(会長および副会長)

第6条 協議会に会長および副会長を各1人置く。

2 会長および副会長は、委員が互選する。

3 会長は、協議会を代表し、会務を総理する。

4 副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるときは、その職務を代理する。

(会議)

第7条 協議会は、会長が招集する。

2 協議会は、委員の半数以上の出席がなければ、会議を開くことができない。

3 会議の議長は、会長が務める。

4 協議会の議事は、出席委員の過半数で決し、可否同数のときは議長の決するところによる。

5 会長は、必要があると認めるときは、委員以外の者を会議に出席させ、意見を聴くこ

とができる。

(部会)

第8条 協議会は、第2条第1項に規定する事項について調査検討を行うため、部会を置くことができる。

2 部会は、会長の指名する委員をもって組織する。

3 部会は、協議会の求めがあったときは、必要な事項を報告しなければならない。

(庶務)

第9条 協議会の庶務は、地域文化部において処理する。

(委任)

第10条 この条例の施行について必要な事項は、練馬区規則で定める。

付 則

この条例は、公布の日から施行する。

付 則 (平成23年12月条例第53号)

この条例は、平成24年4月1日から施行する。

付 則 (平成26年12月条例第49号)

この条例は、平成27年4月1日から施行する。

1 平成29年度事業報告

(1) 展覧会事業

平成29年度 展覧会事業日程および観覧者数

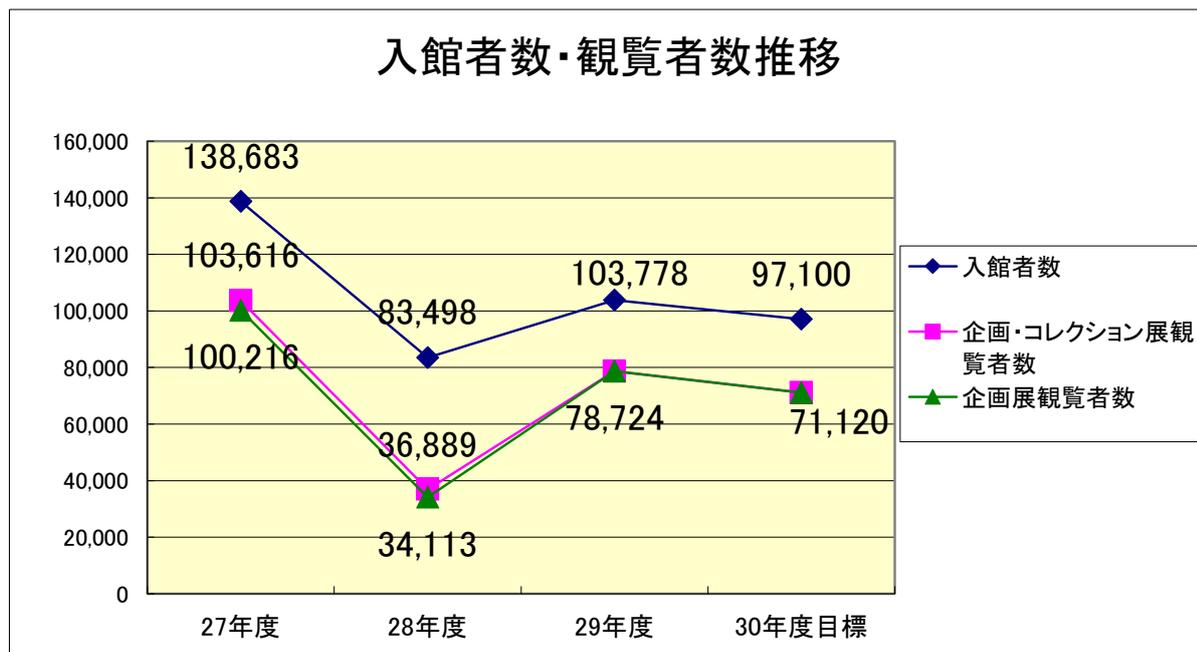
(ア) 企画展等

開催期間	展覧会	開催 日数	観覧者目標 (1日当り)	観覧者実数 (1日当り)	目標比 (%)
4月16日(日) ～6月4日(日)	練馬区独立70周年記念展 19世紀パリ時間旅行-失 われた街を求めて-	43	16,340	15,804	96.7%
			380	(368)	
6月9日(金) ～7月14日(金)	生誕110年記念 漆の画家 太齋春夫展	31	4,650	3,296	70.9%
			150	(106)	
7月23日(日) ～9月18日(祝月)	練馬区独立70記念展 生誕150記念 藤島武二展	50	22,500	16,869	75.0%
			450	(337)	
9月28日(木) ～11月19日(日)	練馬区独立70周年記念展 没後20年 麻田浩展-静謐 なる楽園の廃墟-	46	16,100	7,986	49.6%
			(350)	(174)	
11月26日(日) ～2月11日(日)	小野木学 絵本原画展 ぼくの中のコドモ	62	12,400	11,044	89.1%
			(200)	(178)	
12月20日(水) ～12月27日(水)	練馬区名誉区民顕彰記念 野見山暁治 収蔵作品 展	7	1,400	1,360	97.1%
			(200)	(194)	
2月22日(木) ～4月15日(日)	練馬区独立70周年記念展 サヴィニャック パリにかけ たポスターの魔法	46	32,200	22,365	69.5%
			(700)	(486)	
	合 計	285	105,590	78,724	74.6%
			(370)	(276)	
	前年度	256	48,625	34,113	前年度比
			(190)	(133)	194.4%

(ウ) 各種展覧会

開催期間	展覧会	開催日数	観覧者実数 (1日当り)	
6月9日(金) ～6月18日(日)	第63回練馬区美術家協会展	9	1,514 (168)	
1月13日(土) ～1月17日(水)	中学校生徒作品展	4	3,607 (902)	
1月20日(土) ～1月25日(木)	小学校連合図工展	5	8,704 (1,741)	
1月27日(土) ～1月28日(日)	小・中学校連合書初め展	2	10,130 (5,065)	
2月3日(土) ～2月11日(日)	第49回練馬区民美術展	8	2,072 (259)	
合 計		28	26,027 (930)	前年度比 97.7%
前年度		28	26,627 (951)	

入館者数比較	28年度	29年度	前年度比
	83,498	103,778	124.3%



(2)教育普及事業

①平成29年度 教育普及事業実績

平成30年11月1日作成

館内事業

I) 展覧会関連 (各展覧会を楽しむ)

① 関連ワークショップ・講座

事業名	日程	講師	内容	対象	参加費	定員	申込	参加	
パリ展 関連ワークショップ	絵から生まれるアク セサリー【A】	5月28日(日) 10:30～12:30	松田 かや (自然物造形作 家)	パリ展鑑賞後、印象に残っ た作品の部分などをモ チーフに、様々な材料でア クセサリーを作った。	小学生 以上	500	20	24	9
	絵から生まれるアク セサリー【B】	5月28日(日) 14:00～16:00					20	20	8
太齋春夫展 関連ワークショップ	金で作る漆のアクセ サリー	6月10日(土) 10:30～17:0	三田村 雨龍 (木漆芸家)	太齋展鑑賞後、木地を研 ぎ漆を塗り各自考えたデザ インで金粉をつめた。	中学生以上	2,800	15	38	16
藤島武二展関連 ワークショップ	はだのいろってどん な色？アクリル絵具 を重ねて色を作ろう 【A】	8月3日(木) 10:30～12:30	真子みほ (当館学芸員)	お互いの肌の色、見る場 所での色の違いを確認し た後、人物画の肌の色に 注目しながら藤島展を鑑 賞。創作室に戻り自分の肌 の色(場所は任意)の色を 確認しながらアクリル絵具 で色を作りF0キャンバスに 塗り重ね肌の色の絵画を 作った。	小学生	300	10	17	10
	はだのいろってどん な色？アクリル絵具 を重ねて色を作ろう 【B】	8月3日(木) 14:00～16:00					10	14	9
	はだのいろってどん な色？アクリル絵具 を重ねて色を作ろう 【C】	8月4日(金) 10:30～12:30					10	12	10
	はだのいろってどん な色？アクリル絵具 を重ねて色を作ろう 【D】	8月4日(金) 14:00～16:00					10	13	10
藤島武二展 関連美術講座	藤島さんをマネしよ う！アクリル絵具で 楽しい自由模写(2日 間)	8月5日(土) ～6日(日) 10:30～17:00	板倉 知恵 (絵画造形教室主 宰)	藤島展鑑賞後、自分の好 きな作品を決めその作品を もとにF10キャンバスに作 品を模写した。モチーフの 色は変更、他作品との組 み合わせも可とした。	小学4年～ 中学生	1,000	15	9	8
	油彩画を描こう キヤ ンバス張りから絵具 の使い方まで(2日 間)	8月15日(火) ～16日(水) 10:30～17:00	三浦 高宏 (画家)	藤島展鑑賞後、木枠を組 み立てキャンバスを張ると ころから絵具の使い方まで 解説し、静物を見ながら自 由に描いた。	小学5年～ 中学生	3,000	15	17	14
藤島武二展 関連ワークショップ	自分の横顔を描い てみよう！【A】	8月19日(土) 10:30～12:30	安部 睦 (イラストレーター)	横顔を描いた柄に注目し ながら藤島展鑑賞後、写 真と鏡を参照しながら自分 の横顔を黒い画材で描き パステルで色をつけた。	小学1～ 3年生	300	10	12	10
	自分の横顔を描い てみよう！【B】	8月19日(土) 14:00～16:00					10	13	10
麻田浩展関連 貫井図書館×練 馬区立美術館 ワークショップ	麻田さんの絵を見 てコラージュしよ う！-切って貼って 作品作り	10月8日(日) 13:30～16:30	藤田 百合 (女子美術大学非 常勤講師、エデュ ケーター)	モチーフに注目して麻田 展を鑑賞した後、気になっ たモチーフを図書で調べ、 図書館が用意した廃棄雑 誌などから切り張りしてコ ラージュ作品を完成させ た。	小学生 以上	無料+ 当日 の観 覧券	20	17	14
麻田浩展 関連美術講座	版画『カラーエッチ ングに挑戦』(2日 間)	10月14日(土) ～15日(日) 10:30～17:00	岡 さなえ (版画家)	麻田展を鑑賞後、1版のカ ラーエッチングを制作し た。	中学生 以上	3,000	15	28	15
小野木学展関連 貫井図書館×練 馬区立美術館 ワークショップ	読み聞かせと『か たち』の絵づくり 【A】	12月16日(土) 10:30～12:30	真子 みほ (当館学芸員)	丸、三角、四角を探しなが ら展覧会鑑賞し、図書館職 員が絵本『まるさんかくしか く』と小野木の絵本『かた ち』を読み聞かせた。色画 用紙に丸・三角・四角の折 り紙を貼り付け絵を作っ た。(於視聴覚室)	5歳～ 小学2年生	無料	15	15	11
	読み聞かせと『か たち』の絵づくり 【B】	12月16日(土) 14:00～16:00					15	12	10

小野木学展 関連ワークショップ	しりとり絵本をつくらう【A】	1月20日(土) 10:30～11:30	真子 みほ (当館学芸員)	小野木の絵本の話をした後、参加者皆でしりとりをし、「ん」で終わる8語を抽出。それぞれの言葉を1人ずつ担当して絵を描いた。皆の絵をコピーし綴じて絵本に仕立て各自持ち帰った。	5歳以上	100	8	—	8	
	しりとり絵本をつくらう【B】	1月20日(土) 13:30～14:30					8	—	8	
	しりとり絵本をつくらう【C】	1月20日(土) 15:00～16:00					8	—	8	
	しりとり絵本をつくらう【D】	1月21日(日) 10:30～11:30					8	—	8	
	しりとり絵本をつくらう【E】	1月21日(日) 13:30～14:30					8	—	9	
	しりとり絵本をつくらう【F】	1月21日(日) 15:00～16:00					8	—	8	
小野木学展 関連美術講座	物語を綴る それぞれの挿し絵を一冊の本に(2日間)	2月10日(土)～11日(日) 10:30～17:00	山口 茉莉 (版画家)	小野木展鑑賞後、モチーフを参加者が選びテキストを考えモノクロで挿し絵を描いた。挿し絵は人数分コピーし、糸綴じクロス貼りの本に仕立てた。	中学生以上	1,200	15	12	11	
サヴィニャック展 関連講義+ワークショップ	伝える・伝わるデザインを考えよう	3月17日(土) 10:30～16:00	中村 将大 (東洋美術学校講師)	前半は近代デザインの世界について講義があり、後半は展覧会鑑賞後、くじ引きで引いた言葉をベースに「パンのポスター」を制作した。(於視聴覚室)	中学生以上	500	30	64	26	
サヴィニャック展 関連ワークショップ	大好きなものを紹介しよう!	3月25日(日) 13:30～17:00	真子 みほ (当館学芸員)	自分の好きなものを決めてきてもらい、そこからアピールポイントなどを考えポスターを作った。	小学3～6年生	300	15	18	12	
								355	262	
計24回 参加者延290名										

② ギャラリートーク

事業名	日程	スピーカー	内容	対象	参加費	定員	申込	参加	
パリ展	鹿島茂によるギャラリートーク	4月21日(金) 15:00～16:00	鹿島茂 (明治大学教授)	出品者鹿島茂氏によるギャラリートーク	—	観覧料	—	221	
	学芸員によるギャラリートーク	5月25日(木)	小野 寛子 (当館学芸員)	担当学芸員によるギャラリートーク	—	観覧料	—	86	
	御茶ノ水女子大学生生活科学部人間生活学科生活文化講座の学生によるギャラリートーク	5月24日(水) 15:00～15:30	御茶ノ水女子大学生生活科学部人間生活学科生活文化講座3年生	御茶ノ水女子大学生生活科学部人間生活学科生活文化講座の学部3年生が19世紀の衣装の解説を行った。	—	観覧料	—	42	
		6月1日(木) 15:00～15:30			—	観覧料	—	64	
太齋春夫展	ギャラリートーク	6月22日(木) 15:00～15:30	喜多 孝臣 (当館学芸員)	担当学芸員によるギャラリートーク	—	無料	—	30	
藤島武二展	ギャラリートーク	8月31日(木) 15:00～	加藤 陽介 (当館学芸員)	担当学芸員によるギャラリートーク	—	無料	—	60	
麻田浩展	ギャラリートーク	10月7日(土) 15:00～	佐藤 泰生 (画家)	麻田も出品していた新制作協会の佐藤氏によるギャラリートーク	—	観覧料	—	37	
	ギャラリートーク	11月4日(土) 15:00～	麻田 弦 (麻田浩長男)	麻田のご長男弦さんによるギャラリートーク	—	観覧料	—	62	
小野木学展	担当学芸員によるギャラリートーク	12月9日(土) 15:00～	司修(画家) 真子みほ (当館学芸員)	担当学芸員と、小野木と親交のあった司氏によるギャラリートーク	—	観覧料	—	55	
		1月27日(土) 15:00～	真子みほ (当館学芸員)	担当学芸員によるギャラリートーク	—	観覧料	—		
サヴィニャック展	学芸員によるギャラリートーク	3月7日(水) 15:00～	小野 寛子 (当館学芸員)	担当学芸員によるギャラリートーク	—	観覧料	—	50	
		4月5日(木) 15:00～			—	観覧料	—	83	
								790	
計12回 参加者延790名									

③ 講演会、シンポジウム等

事業名	日程	講師・パネリスト	内容	対象	参加費	定員	申込	参加	
パリ展特別講演会	オスマン大改造以前・以後のパリについて	5月13日(土) 15:00～16:30	鹿島茂 (明治大学教授、フランス文学者)	出品者の鹿島氏から、今回の展覧会のポイントであるオスマン大改造についてお話いただいた。(於視聴覚室)	中学生以上	展覧会観覧料	70	367	77
	美術と建築から見るオペラ座	5月14日(日) 15:00～16:30	喜多崎 親 (成城大学教授 [西洋美術史])	講師が実際に現地で撮った写真も含め、様々な資料からオペラ座の特徴をお話いただいた。(於視聴覚室)	中学生以上	展覧会観覧料	70	143	62
	パリジェンヌの発見ー首都の華とモードー	5月20日(土) 15:00～16:30	深井 晃子 (京都服飾文化研究財団理事、名誉キュレーター)	今回衣装をお借りした京都服飾財団からお越しいただき、19世紀のファッションについてお話いただいた。(於視聴覚室)	中学生以上	無料	70	127	61
太齋春夫展講演会	漆の魔術師 太齋春夫	7月1日(土) 14:30～16:00	三田村 有純 (東京藝術大学参与、名誉教授)	太齋の開発した漆の技術やその作品について、漆芸家の視点からお話いただいた。(於視聴覚室)	中学生以上	展覧会観覧料	70	59	64
藤島武二展特別講演会	藤島武二とイタリアの魅力	7月30日(日) 15:00～16:30	高階 秀爾 (大原美術館館長、東京大学名誉教授)	イタリア留学時の作品を軸に、藤島の絵画についてお話いただいた。(於サンライフ練馬)	中学生以上	展覧会観覧料	70	164	69
	藤島芸術の装飾性	8月20日(日) 15:00～16:30	島田紀夫 (実践女子大学名誉教授、プリヂストン美術館前館長)	装飾という観点から藤島芸術についてお話いただいた。(於サンライフ練馬)	中学生以上	展覧会観覧料	70	79	68
麻田浩展特別講演会	麻田浩をめぐって	10月22日(日) 15:00～16:30	粟津 則雄 (美術評論家)	麻田浩との思い出から、麻田の芸術についてお話いただいた。(於視聴覚室)	中学生以上	展覧会観覧料	70	75	48
	「麻田浩」再考	10月28日(土) 15:00～16:30	山野 英嗣 (和歌山県立近代美術館館長)	京都国立近代美術館で麻田浩展を担当された当時のことを中心に麻田作品についてお話いただいた。(於視聴覚室)	中学生以上	展覧会観覧料	70	37	30
小野木展関連 貫井図書館×練馬区立美術館イベント	所蔵作家の挿し絵の仕事 作家紹介と本を見る会	2月3日(土) 14:00～15:30	真子 みほ (当館学芸員)	小野木学はじめ、所蔵作家の中から挿し絵の仕事も多く残した7名を紹介した後、実際に本を手にとって見てもらった。(於視聴覚室)	中学生以上	無料	30	30	28
サヴィニャック展記念講演会	ポスターの魔術師：サヴィニャックについて	2月22日(木) 11:00～12:00	ティエリー・ドゥヴァンク (本展監修者)	自らもサヴィニャックのコレクションを持つ監修者のドゥヴァンク氏からサヴィニャックの魅力についてお話いただいた。(於視聴覚室)	中学生以上	展覧会観覧料	70	78	81
							1,159	588	
							計10回 参加者延588名		

④ コンサート・ライブパフォーマンス

事業名	日程	出演	内容	対象	参加費	定員	申込	参加
パリ展関連 朗読と音楽の公演 「ワルツ〜カミーユ・クローデルに捧ぐ〜」	4月29日(土祝) 18:30開演	出演:若村 麻由美(朗読)、坂東 祐子(パフォーマンス)、馬場 翔太郎(ピアノ) 音楽:坂田 幸一(チェロ) テーマ曲「カミーユのワルツ」		—	A席 4,500円	—	75	71
	4月30日(日) 18:30開演			—	B席 3,500円	—	75	79
藤島武二展 記念コンサート	7月29日(土) 15:00~16:00	田口 雅人(ヴァイオリン/練馬区演奏家協会会員) 渚 智佳(ピアノ/東京音楽大学非常勤講師、練馬区演奏家協会運営委員)		—	展覧会 観覧料	—	—	113
麻田浩展 記念コンサート	11月3日(金・祝) 15:00~16:00	伊藤万桜(ヴァイオリン/東京音楽大学大学院在学)、山崎早登美(ピアノ/東京音楽大学非常勤講師、[伴奏・室内楽])		中学生以上	展覧会 観覧料	—	—	156
小野木学展関連イベント 小野木さんの誕生日記念パフォーマンス 「オコドモトナ」	1月13日(土) 10:30~17:00	東山佳永(アーティスト) 参加者とアーティストが対話しながら「自分の 中の子ども」を見つけていく参加型パフォー マンズ。作家が話をしながら制作した豆本を 持ち帰ってもらった。各日9枠、当日受付。		どなたでも	無料	1枠1 名※2 名は1 枠3名 は2枠	—	9
	1月14日(日) 10:30~17:00						—	6
サヴィニャック展特別コンサート	3月3日(土) 18:20開演	江原泰子(オーボエ)、江黒未希(ファゴット)、平野裕樹子(ピアノ)		中学生以上	1,500	50	105	90
								524
								計7回 鑑賞者延524名

⑤ 鑑賞プログラム

事業名	日程	講師	内容	対象	参加費	定員	申込	参加			
太齋春夫展	トコトコ美術館【A】 vol.21「しかく」	真子 みほ (当館学芸員)	展示室内で「しかくでできた絵」を親子で探した後、絵本『どっとこどうぶつえん』を見た。創作室で正方形のウッドチップを板に敷き詰めるようにモザイク画を制作した。最後は作品を持って展示室で鑑賞し参加証メダルを渡した。	小学1, 2年生+保護者	無料 ※保護者は当日の展覧会鑑賞券が必要	各回 5組	5組 10名	4組 8名			
	トコトコ美術館【B】 vol.21「しかく」						6月25日(日) 14:00~15:30	4組 8名	3組 6名		
	トコトコ美術館【C】 vol.21「しかく」			7月8日(土) 10:30~12:00			3~6歳 +保護者 (子ども1~ 2名+保護 者1名)	8組 19名	5組 11名		
	トコトコ美術館【D】 vol.21「しかく」			7月8日(土) 14:00~15:30				6組 12名	2組 4名		
	トコトコ美術館【E】 vol.21「しかく」			7月9日(日) 10:30~12:00			10組 22名	5組 10名			
	トコトコ美術館【F】 vol.21「しかく」			7月9日(日) 14:00~15:30			5組 11名	5組 11名			
麻田浩展	トコトコ美術館【A】 vol.22「みず」	真子 みほ (当館学芸員)	展示室で水辺の生き物を探したあと絵本『こぐまちゃんのみずあそび』を見た。その後資料室に移動し、デカルコマニーで遊んだあと気に入ったものを黒画用紙に貼り付けて作品とし、最後は展示室で作ったものと麻田作品を並べて鑑賞。参加証メダルを渡した。	3~6歳 +保護者 (子ども1~ 2名+保護 者1名)	無料 ※保護者は当日の展覧会鑑賞券が必要	各回 5組	6組 15名	4組 9名			
	トコトコ美術館【B】 vol.22「みず」						9月30日(土) 14:00~15:30	2組 7名	5組 11名		
	トコトコ美術館【C】 vol.22「みず」						10月1日(日) 10:30~12:00	10組 21名	5組 10名		
	トコトコ美術館【D】 vol.22「みず」						10月1日(日) 14:00~15:30	6組 14名	5組 12名		
	あかちゃん鑑賞会【A】	10月21日(土) 10:30~12:00	富田 めぐみ (NPO法人赤ちゃんからのアートフレンドシップ協会)	鑑賞のヒントをお話した後、あかちゃんの様子を観察しながら展示室を巡って鑑賞した。			0~2歳までのお子さんとその家族	無料 ※保護者は当日の展覧会鑑賞券が必要	20	26	18
	あかちゃん鑑賞会【B】	10月21日(土) 13:30~15:00								15	6

小野木展	トコトコ美術館【A】 vol.23「とり」	12月2日(土) 10:30～12:00	真子 みほ (当館学芸員)	展示室でとりを探した後、 小野木の絵本『おしゃれな からす』を皆で見た。創作 室に移動し、色画用紙で 羽を作って自分を飾った。	3～6歳 +保護者 (子ども1～ 2名+保護 者1名)	無料	各回 5組	9組 20名	5組 11名	
	トコトコ美術館【B】 vol.23「とり」	12月2日(土) 14:00～15:30						7組 15名	4組 10名	
	トコトコ美術館【C】 vol.23「とり」	12月3日(日) 10:30～12:00						16組 34名	5組 12名	
	トコトコ美術館【D】 vol.23「とり」	12月3日(日) 14:00～15:30						7組 16名	5組 11名	
	トコトコ美術館【E】 vol.23「とり」	12月10日(日) 10:30～12:00						小学1, 2 年生+保 護者	4組 8名	4組 8名
	トコトコ美術館【F】 vol.23「とり」	12月10日(日) 14:00～15:30							5組 10名	5組 10名
								283名	178名	
								計18回 参加者延178名		

Ⅱ) 美術館を楽しむワークショップ(人が集う「場」作り)

事業名	日程	講師	内容	対象	参加費	定員	申込	参加
四季のみじたく33	夏のみじたく 「糸遊びをしながら コースターを作ろう」 【A】	村松 啓市 (ニットデザイ ナー)	さまざまな糸から好きな ものを選び、織り枠を使って コースターを織った。	小学4年生 以上	500	10	10	9
	夏のみじたく 「糸遊びをしながら コースターを作ろ う」【B】					7月2日(日) 14:00～16:00	10	10
美術館をつかまえる!館内探検とフ ロッタージュ遊び【A】	7月29日(土) 10:30～12:30	真子 みほ (当館学芸員)	バックヤードを巡りながらい くつかの箇所では色鉛筆でフ ロッタージュをし、さまざま な場所を「採集」する。探検 から戻ったら採集した紙を 糸で綴じて標本として持ち 帰った。	5歳～ 小学2年生	100	10	28	9
美術館をつかまえる!館内探検とフ ロッタージュ遊び【B】	7月30日(日) 10:30～12:30					10	13	10
美術館をつかまえる!館内探検とフ ロッタージュ遊び【C】	7月30日(日) 14:00～15:30					10	12	6
四季のみじたく34	秋のみじたく 「いろいろな紙を選 んで秋色のスケッチ ブックを作ろう」	9月17日(日) 10:30～17:00	中澤 季絵 (イラストレーター)	小学4年生 以上	500	20	14	11
四季のみじたく35	冬のみじたく 「自分だけの柄で贈 り物を包む包装紙を 作ろう」	11月26日(日) 10:30～17:00	青山 佳世 (テキスタイルデザ イナー)	小学4年生 以上	500	20	22	18
四季のみじたく36	春のみじたく 「ママがまぐちのペ ンダント」【A】	3月4日(日) 10:30～12:30	イシカワカオル (布作家)	小学4年生 以上	800	10	31	10
	春のみじたく 「ママがまぐちのペ ンダント」【B】					3月4日(日) 14:00～16:00	10	15
						110	155	95
						計9回 延95名		

館内事業計80回 参加者延2,465名

学校関連事業

I) スクールプログラム口

4月にパンフレットを作成し区内小中高等学校に配布。申し込みの際は用紙に記入し送付していただいた。

① 団体鑑賞

展覧会	日程	内容	学校名	生徒数	引率
パリ展	5月16日(火) 10:00～12:00	創作室での展覧会解説後、展示室を見て回った	志村学園高等部	4	4
太齋春夫展	6月18日(日) 13:00～15:00	バックヤードを見学した後展覧会を鑑賞した	練馬区青少年育成第三地区委員会	89	6
	6月20日(火) 10:00～11:30	バックヤードを見学した後展覧会を鑑賞した	新座市立第六中学校・美術部	9	1
藤島武二展	7月23日(日) 10:30～12:00	担当学芸が藤島展を解説し自由見学	学習院大学	20	1
	7月29日(土)	担当学芸が藤島展を解説し自由見学	実践女子大学	37	1
	8月2日(水) 14:30～16:30	担当学芸が藤島展を解説し自由見学	武蔵野美術大学通信過程夏季スクーリング	24	5
	9月7日(木)	自由鑑賞のみ	中央工学院	46	3
麻田浩展	9月29日(金) 13:50～	創作室で麻田について話した後自由鑑賞	練馬区立練馬第三小学校・6年生	64	3
	10月3日(火) 10:00～	創作室で麻田について話した後自由鑑賞	豊島区立長崎小学校・4年生	33	4
	10月12日(木) 10:55～11:30	10月11日の出張プログラムでのレクチャーを踏まえたうえでの自由鑑賞。ワークシート学校制作	山崎学園富士見中学校・2年梅組	39	2
	10月17日(火) 11:55～12:30		山崎学園富士見中学校・2年桃組	39	2
	10月17日(火) 13:25～14:00		山崎学園富士見中学校・2年竹組	38	1
	10月19日(木) 10:55～11:30		山崎学園富士見中学校・2年松組	38	1
	10月20日(金) 13:25～14:00		山崎学園富士見中学校・2年菊組	40	2
	10月20日(金) 14:25～15:00		山崎学園富士見中学校・2年桜組	38	1
	10月20日(金) 9:30～12:00		NPO法人アルダによる対話型鑑賞プログラム	西東京市立保谷第二小学校・4年生	69
	10月25日(水) 10:30～11:30	バックヤード見学後、探し物ゲームをしながら展覧会鑑賞をする。	ベネッセ氷川台保育園・年長クラス	雨天中止	
	11月7日(火) 10:00～10:45	ロビーで展覧会について話したあと自由鑑賞	練馬区立石神井東小学校・6年生	71	4

小野木学展	1月23日(火)	簡単な解説と自由鑑賞	練馬区立立野小学校・5年生	72	4
	1月23日(火)	作品の前で事前授業の振り返りをした後、展示室で図書館の先生が『かたあしだちょうのエルフ』の読み聞かせを行った。	練馬区立大泉第六小学校・4年生	65	4
	1月27日(土) 10:00～14:00	展覧会鑑賞後、しりとり絵本を作った	入間市中央公民館	15	7
	2月27日(火) 9:30～11:30	ロビーで展覧会について話したあと自由鑑賞	練馬区立豊玉小学校・6年生	66	4
	3月1日(木) 14:00～15:00	ロビーと展示室で話したあと自由鑑賞	練馬区立大泉第一小学校・5年生	60	4
サヴィニャック展	3月7日(水)	簡単な解説と自由鑑賞	練馬区立貫井中学校・2年生	96	1
	3月7日(水)		練馬区立貫井中学校・2年生		1
	3月7日(水)		練馬区立貫井中学校・2年生		1
				1,072	105
				計25回 延1,163名	

② 施設見学 各学校の学習目的に合わせて館内(バックヤードを含む)を案内し、施設を紹介した。

コース名	日程	内容	学校名	生徒数	引率
施設見学	5月9日(火) 13:30～14:30	バックヤード見学と展示室の設備紹介。展覧会は自由鑑賞。	日本大学芸術学部・博物館実習履修生	36	1
	5月12日(金) 13:30～14:30				1
	7月28日(金) 13:00～14:00		東洋美術学校・博物館展示論履修生	13	1
	10月9日(月祝) 10:00～11:00		東京造形大学	15	1
	11月18日(土) 10:30～11:30		武蔵大学・博物館資料保存論履修生	19	1
	1月17日(木) 10:00～10:30	質疑応答とバックヤード見学	練馬第三小学校・2年生	4	2
				87	7
				計6回 延94名	

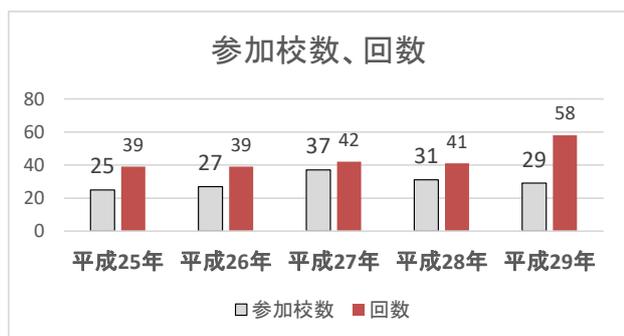
③ 職場体験・訪問 受付や事務、監視、学芸などいくつかの仕事を体験させ、美術館全体の役割を伝えた。

コース名	日程	事前訪問日程	学校名	生徒数	見回り
職場体験	6月29日(木) ～30日(水) 9:30～15:00	6月22日(木) 14:00～	練馬区立石神井中学校・2年生	2	1
	7月11日(火) ～12日(水) 9:30～15:00	6月15日(木) 17:00～	練馬区立北町中学校・2年生	1	1
	8月1日(火) ～2日(水) 9:30～15:00	7月18日(水) 17:30～	東京学芸大学付属中学校中学校・2年生	2	0
	9月6日(水) 9:30～15:00	7月26日(水) 15:00～	練馬区立八坂中学校①・2年生	2	1
	9月7日(木) ～8日(金) 9:30～15:00	7月14日(金) 15:00～	練馬区立練馬中学校・2年生	1	1
	9月8日(金) 9:30～15:00	7月28日(金) 15:00～	練馬区立八坂中学校②・2年生	1	1
	9月12日(火) ～13日(水) 9:30～15:00	9月6日(水) 15:00～	練馬区立関中学校・2年生	1	1
	9月13日(水) ～14日(木) 9:30～15:00	9月6日(水) 15:30～	練馬区立開進第一中学校・2年生	2	1
	9月13日(水) ～14日(木) 9:30～15:00	9月5日(火) 15:00～	練馬区立南が丘中学校・2年生	2	1
	10月4日(水) ～5日(木) 9:30～15:00	9月14日(木) 15:00～	練馬区立豊玉中学校・2年生 ※2日目は体調不良で欠席	1	1
	11月9日(木) ～10日(金) 9:30～15:00	10月19日(木) 16:00～	練馬区立光が丘第二中学校・2年生	1	1
	1月25日(木) 9:30～15:00	12月14日(木) 1月18日(木)	練馬区立中村中学校	2	1
	2月1日(木) ～2日(金) 9:30～15:00	1月25日(木)	練馬区立開進第二中学校	2	1
				20	12
				計13回 延32名	

④ 出張プログラム 担当者が学校へ赴きコレクションや開催中の展覧会に関連した授業のお手伝いをした。

コース名	日程	内容	学校名	生徒数	教員
出張プログラム	7月14日(金) 9:40～11:30	パワーポイントを使った職業紹介を行った。	都立大山高等学校・1,2年生	58	2
	9月11日(月) 9:40～	パワーポイントを使い美術館の紹介と空想の世界の描き方についてお話し、当館の所蔵品カードを使ってタイトル当てゲームを行った。	練馬区立上石神井中学校・2年B組	138	1
	9月11日(月) ～11:30		練馬区立上石神井中学校・2年C組		1
	9月12日(火)		練馬区立上石神井中学校・2年A組		1
	9月14日(木)		練馬区立上石神井中学校・2年D組		1
	10月11日(火) 10:45～11:30	麻田展鑑賞の事前学習として担当学芸員がレクチャーを行った。	山崎学園富士見中学校・2年生	249	3
	12月12日(火) 8:45～	事前授業で小野木作品から好きなものを選びタイトルを考えており、その発表を聞き、美術館の紹介と小野木の紹介を行った。	練馬区立大泉第六小学校・4年1組	33	1
	12月12日(火) 9:45～		練馬区立大泉第六小学校・4年2組	32	1
	1月15日(月)	美術館紹介の後、4人グループで一つの詩(3種くじ引き)を選び、所蔵品カードの中からその詩に合う作品を3つ以上選んだ。	練馬区立立野小学校・5年1組	35	1
	1月15日(月)		練馬区立立野小学校・5年2組	37	1
	1月17日(水)	フランスのポスター作家の作品5点の中から1番と最下位を決め、各自理由をポストイットに書いて貼り出し特徴を比較した。	練馬区立貫井中学校・2年	96	1
	1月17日(水)		練馬区立貫井中学校・2年		1
	1月17日(水)		練馬区立貫井中学校・2年		1
	3月8日(木)	所蔵品カードから自作の俳句にあった作品を見つけ、発表した。	練馬第三小学校・6年生	64	3
				742	19
				計14回 延761名	

スクールプログラム 計29校58回 参加児童・生徒・学生 延2,050名



Ⅱ) ティーチャーズデイ

当館及び当館主催の展覧会を、授業等で活用していただくために、区内の小中学校の先生を対象とした展覧会鑑賞日を設けた。各日ともに展示担当学芸員(または教育普及担当)による展示解説を30分程度行い、その後は自由鑑賞とした。

展覧会名	日程	参加人数
パリ展	4月15日(火) 15:30～	13
太齋春夫展	6月18日(火) 15:30～	11
藤島武二展	7月26日(火) 15:30～	12
麻田浩展	9月29日(火) 15:30～	9
小野木学展	12月5日(火) 15:30～	12
サヴィニャック展	2月23日(火) 15:30～	4
		61
		計6回 延61名

Ⅲ) スクールミュージアム

美術館の所蔵作品を学校の授業に役立ててもらうため、紙製の図版カード(トランプ大)の貸し出しを行った。
※これらのツールは、平成18年文化庁芸術拠点形成事業助成を受け、当館の所蔵作品から104点を選出し、作成したもの。

本年度の貸し出し なし

その他

I) 団体鑑賞(一般)

一般団体から展覧会解説の要望があった場合、申込用紙に記入頂いたうえで、各担当学芸員が担当し実施した。

展覧会	在館日時	担当	団体名	代表者氏名	参加者
パリ展	5月17日(水) 10:30～12:00	小野	練馬シニアネットワーク 睦会	会長 渋井良郎	25
	5月28日(日) 10:00～11:00	小野	アートテラー・とに～のアートツアー	アートテラーとに～	11
太齋春夫展	6月21日(水) 13:00～14:00	喜寿	練馬シニアネットワーク 睦会	会長 渋井良郎	20
	7月8日(土) 10:00～11:30	喜寿	NPO法人健生会	小坂茜	24
藤島武二展	9月5日(火) 10:30～12:00	加藤	練馬シニアネットワーク 睦会	会長 渋井良郎	19
					99
					計5回 延99名

② 平成29年度 博物館実習実績

実習実施期間 平成29年9月6日(水)～9月13日(水) 全6日間

※9月10日、11日を除く

No	大学名	学部等	人数
1	明治学院大学	文学部 芸術学科	1名
2	日本大学	芸術学部 芸術学科	1名
3	聖心女子大学	文学部 哲学科	1名
4	跡見学園女子大学	文学部 人文学科	1名
5	学習院大学	文学部 哲学科 西洋美術史専攻	1名
6	青山学院大学	文学部 史学科 西洋史コース	1名
7	東京女子大学	現代教養学部 人文学科 史学専攻	1名
8	多摩美術大学	絵画学科 日本画専攻	1名
9	八洲学園大学	生涯学習学部 生涯学習学科	1名
10	目白大学	社会学部 メディア表現学科	1名
合		計	10名

(昨年度10名)

③平成29年度 美術館サポーター(ボランティア)活動実績

「美術館サポーター」は、平成17年8月からスタートしたボランティア活動(1年更新)で、美術館事業の一部(チラシ発送作業・新聞資料作成・イベントの手伝い等)を担ってもらうボランティア活動である。

平成29年度は総勢42名のサポーターが各展覧会の事業補助や新聞切抜き作業などに従事している。

サポーター活動の実績		平成29年4月～平成30年3月	
展覧会等	活動内容	活動日数	延べ人数
19世紀パリ時間旅行 失われた街を求めて	会場整理等イベント補助	3日	3名
生誕150年記念 漆の画家 太齋春夫展	会場整理等イベント補助	1日	1名
生誕110年記念 藤島武二展	会場整理等イベント補助	2日	2名
没後20年 麻田浩展	会場整理等イベント補助	2日	2名
小野木学 絵本原画展 ぼくの中のコドモ	会場整理等イベント補助	0日	0名
練馬区名誉区民顕彰記念 野見山暁治収蔵作品展	会場整理等イベント補助	0日	0名
練馬区民美術展	会場整理等イベント補助	4日	32名
サヴィニャック パリにかけた ポスターの魔法	会場整理等イベント補助	0日	0名
練馬区ゆかりの作家調べ		11日	128名
サポーター通信「階(きざはし)」編集		10日	60名
新聞切り抜き資料作成		40日	437名
懇談会(館長出席)		1日	26名
合 計		74日	691名

(平成28年度 79日 延780名)

(3)美術作品の収集事業

①平成29年度 美術作品の収蔵状況

(平成30年3月31日現在)

年度	日本画		洋画		版画		工芸		書		彫刻・立体		その他		計		合計
	購入	寄贈	購入	寄贈	購入	寄贈	購入	寄贈	購入	寄贈	購入	寄贈	購入	寄贈	購入	寄贈	
59	6		9	1			1	2							16	3	19
60	1	1	5	1		1				1					6	4	10
61		7	14	221	14	28								317	28	573	601
62	3	1	32	16	9	1							1	1	45	19	64
63	2	1	15	1	12										29	2	31
1	2		5	48											7	48	55
2	4	1	19	29	4	1									27	31	58
3	2	1	14	13											16	14	30
4	2	1	12	10	18	9									32	20	52
5	2		1	2											3	2	5
6	1	1	15	7		1					1				17	9	26
7	2	4	4	3		1						1			6	9	15
8	1	2	2	9	5	1									8	12	20
9			12	2	1	46									13	48	61
10	3	4	12	21											15	25	40
11		4	12	5		134									12	143	155
12		8		11											0	19	19
13				13											0	13	13
14		29		13											0	42	42
15		1	6	8	12	77									18	86	104
16		65		6											0	71	71
17		6		20											0	26	26
18		30		121		97								8	0	256	256
19		17		40				5				7		7	0	76	76
20		8		31		21									0	60	60
21		8		44		98						13			0	163	163
22		11		168		9								3		191	191
23		8		13								1		123		145	145
24		32		10		33										75	75
25															0	0	0
26		13	1	422		215						22		2084	1	2756	2757
27		5		97		112		25						18	0	257	257
28		25		22												47	47
29															0	0	0
合計	31	294	190	1428	75	885	1	32	0	1	1	44	1	2561	299	5245	5544

平成30年3月31日現在
寄託作品 1,886 点

購入・寄贈・寄託計 7,430点

②平成29年度 収蔵品貸出一覧

10施設の展覧会に、計18作品の貸し出しを行った。

	貸出施設	展覧会名	会期	貸出作品
1	平塚市美術館 他1館	リアル(写実)のゆくえ展	4月15日～ 11月5日	牧野邦夫《食卓にいる姉の肖像》1964年 (寄託作品)
2	岩手県立美術館 他1館	没後90年 萬鉄五郎展	4月15日～ 11月19日	萬鉄五郎《荒模様》1923年
3	横須賀市美術館	開館10周年記念 美術で めぐる日本の海展	6月20日～ 9月15日	小野具定《冬ざれ》1980年
4	石神井公園ふるさと文化館	描かれた武蔵野展	9月16日～ 11月5日	茨木杉風《石神井にて》他5点
5	創画会	創画会70周年記念展	10月24日～30日	小野具定《捨てた海》1971年
6	鎌倉市鏑木清方記念美術館	清方 江戸東京の美しき面影	10月28日～ 12月3日	鏑木清方《道成寺》1928年
7	実践女子大学香雪記念資料館	朝倉撰展	11月6日～ 12月16日	朝倉撰《更紗の部屋》1942年 他1点
8	名古屋市美術館	真島直子 地ごく楽展	平成30年3月3日 ～ 7月1日	真島直子《JIGOKURAKU 2000 DL-1》 2000年 他4点

③ 平成29年度美術館収蔵品データベースに対する反響

当館ホームページでは企画展の見どころや教育普及事業の情報などを随時公開しており、多くの方に利用いただいている。

また収蔵品についても平成17年にデジタルデータ化し、学校教育や生涯学習等、利用機会の拡充を行った。平成24年にはデータベースを新システムに更新し、常時インターネットより7,000点に及ぶ当館収蔵品を検索・閲覧可能とした。

平成29年度の収蔵品データベースへのアクセス件数

	データベース (件)
4 月	692 件
5 月	799 件
6 月	614 件
7 月	818 件
8 月	830 件
9 月	854 件
10 月	806 件
11 月	705 件
12 月	682 件
1 月	632 件
2 月	587 件
3 月	637 件
合 計	8,656 件
平 均	721 件/月
(平成28年度	9,814 件)

(4) 施設利用状況

平成29年度 施設利用状況

① 展示室

区 分	展覧会 回 数	利用日数 (日)	観覧者数 (人)	利用可能日数 (日)	利用率 (%)
一般展示室	43	239	21,561	267	89.5
企画展示室	7	38	6,134	48	79.2
合計	50	277	27,695	315	87.9
(平成28年度)	49	259	27,681	314	82.5

② 創作室

利用団体	利用件数(件)	月平均 件数(件)	利用人数 (人)	利用可能件数 (件)	利用率 (%)
16	308	26	5,117	405	76.0
(平成28年度)	315	26	4,728	540	58.3

③ 施設申込状況

区 分		年度総件数	月平均件数	倍 率
一般展示室	申込	94	7.8	最高 4.50倍
	当選	42	3.5	平均 2.24倍
企画展示室	申込	6	—	12月および1月の一部貸出 ※抽選は平成29年6月およ び7月に行った。 倍率 2.00倍
	当選	3	—	

※展示室の抽選は利用日の6ヶ月前

(5) ぐるっとパスの利用状況

① 平成 29 年度ぐるっとパスの利用状況

「ぐるっとパス」は、都内の美術館・博物館などの入場券または割引券を 1 冊に綴ったチケットブックで、平成 29 年度は 79 の施設が対象施設として参加した。当館も、観覧者と収入の増を見込んで、平成 23 年度から対象施設として参加している。

価格は 1 冊 2,000 円（使用開始日から 2 か月間有効）で、各対象施設や旅行代理店などで販売を行うほか、コンビニエンスストア等でも引換券を販売している。

平成 29 年度は、パス 222 冊（上半期 187 冊、下半期 35 冊）を売り上げた。

また、パスの所持者 2,230 人が当館を利用した。

※ 平成 28 年度は、パス売り上げ 205 冊、パス所持者 1,731 人が来館

② 平成 29 年度ぐるっとパスの収支

(A) 収入・・・466,147 円（平成 28 年度 394,074 円）

① 販売歩合 売上の 5% @2,000×222 冊×5%=22,200 円

② 配分金 パス利用の入館者数（2,230 人）に応じた配分金 293,947 円

③ 出資金返還 150,000 円

(B) 支出・・・150,000 円

① 参加出資金 150,000 円

※ 収入(A)－支出(B)

466,147 円－150,000 円＝316,147 円

※ 前年比 16,813 円の増

(平成 28 年度 299,334 円)

(6)広報活動と反響

「19世紀パリ時間旅行—失われた街を求めて—」

(平成29年4月16日～6月4日)

<p><テレビ></p> <p>NHK Eテレ「日曜美術館 アートシーン」 5月14日 9:45～</p> <p>TOKYO MX「アート・ステージ～画家たちの美の饗宴～」5月6日 10:30～10:55</p> <p>J:com「デイリーニュース (練馬・新座・和光)」 4月下旬 18:00～18:30</p>	
<p><新聞></p> <p>毎日新聞 4月6日朝刊、4月14日朝刊、4月15日朝刊、5月5日朝刊 5月9日朝刊、5月10日朝刊、5月11日朝刊、5月24日朝刊</p> <p>読売新聞 5月11日朝刊</p> <p>社会新報 5月17日</p> <p>都政新報 5月9日</p>	
<p><美術雑誌></p> <p>美術の窓 2017年2月号</p> <p>芸術新潮 2017年4月号</p> <p>美術の窓 2017年6月号</p>	<p><雑誌></p> <p>MOE 2017年4月3日号</p> <p>ふらんす 2017年4月号</p> <p>東京人 2017年4月3日号</p> <p>Ozmagazine 2017年6月号</p> <p>週刊新潮 4月13日発売号</p> <p>西武鉄道「cocotto」2017年6月号</p> <p>トーキングヘッズ叢書(TH series) No.70</p> <p>月刊武州路 2017年4月号</p> <p>はいからエスト 2017年4月17日発行</p> <p>TVガイド 2017年5月26日号</p>
<p><地域情報誌></p> <p>びいーゆ 2017年4月1日号</p> <p>月刊かっせ 2017年4月号、5月号</p>	<p>ねりまファミリーパック 4・5月号</p> <p>情報誌プレステン 2017年4月22日号</p>
<p><WEB></p> <p>アートアジェンダ</p> <p>ジーエーピー</p> <p>SPICE</p> <p>アートサイト migle</p> <p>個展ナビ</p> <p>ShareArt</p>	<p>myLiFE+</p> <p>ぶらり美術館</p> <p>練馬経済新聞</p> <p>FRANC-PARLER</p> <p>トコト</p> <p>pen online</p> <p>他</p>

「生誕 110 年記念 漆の画家 太齋春夫展」

(平成 29 年 6 月 9 日～平成 29 年 7 月 14 日)

<p><テレビ> J:com 「デイリーニュース (練馬・新座・和光)」 6 月 23 日放送</p>	
<p><新聞> 日本経済新聞 6 月 1 日 夕刊 朝日新聞 6 月 6 日 夕刊 東京新聞 6 月 15 日 朝刊 新美術新聞 6 月 26 日 (7 月 1 日号) 朝日新聞 6 月 27 日 夕刊 石巻河北新報 6 月 30 日</p>	
<p><美術雑誌> 「月刊ギャラリー」 7 月号 「美術の窓」アートコレクターズ 7 月号</p>	<p><雑誌> 月刊「武州路」 6 月号</p>
<p><WEB> 個展ナビ アートアジェンダ (FAITH) 練馬情報メール インターネットミュージアム タイムアウト東京 美術出版社 (ART NAVI EX)</p>	
<p><その他> 練馬区報 5 月 21 日号 NERICUL 2017SUMMER (6/21 号)</p>	

「生誕 150 年記念 藤島武二展」

(平成 29 年 7 月 23 日～平成 29 年 9 月 18 日)

<p><テレビ></p> <p>J:com 「デイリーニュース (練馬・新座・和光)」 8 月 17 日放送</p> <p>NHK 「日曜美術館 アートシーン」 8 月 27 日放送</p>	
<p><新聞></p> <p>東京新聞 7 月 12 日朝刊・7 月 20 日朝刊・7 月 22 日朝刊・7 月 23 日朝刊 8 月 7 日朝刊・8 月 21 日夕刊・8 月 23 日夕刊・8 月 24 日朝刊 8 月 25 日朝刊、8 月 27 日朝刊、9 月 7 日朝刊</p> <p>朝日新聞 7 月 18 日夕刊、8 月 1 日夕刊</p> <p>毎日新聞 7 月 21 日、8 月 9 日夕刊</p> <p>新美術新聞 7 月 21 日号</p> <p>The Japan Times 7 月 26 日</p> <p>美じょん新報 8 月 1 日(214-215 合併号)</p> <p>陸奥新報 8 月 6 日</p> <p>産経新聞 8 月 17 日朝刊</p> <p>日本経済新聞 8 月 23 日朝刊</p> <p>山隊新聞 9 月 3 日</p> <p>沖縄タイムズ、佐賀新聞 9 月 5 日</p> <p>岐阜新聞、徳島新聞、埼玉新聞、秋田さきがけ新聞 9 月 6 日</p> <p>しんぶん 赤旗 9 月 8 日</p> <p>宮崎日日新聞 9 月 9 日</p> <p>大阪日日新聞 9 月 10 日</p> <p>中国新聞 9 月 12 日</p> <p>千葉日報 9 月 13 日</p> <p>福島民報 9 月 16 日</p> <p>行幸啓記事掲載誌：東京新聞、日本経済新聞、朝日新聞、読売新聞 (すべて 9 月 17 日朝刊)</p>	
<p><美術雑誌></p> <p>「美術の窓」 2 月号・8 月号・9 月号</p> <p>「月刊ギャラリー」 8 月号</p> <p>「月刊美術」 9 月号</p> <p>「月刊アートコレクターズ」 9 月号</p> <p>「芸術新潮」 9 月号</p>	<p><雑誌></p> <p>「SPUR」 9 月号</p> <p>「IZANAGI」 8 月号</p> <p>「懸賞なび」 7 月 22 日発売号</p> <p>月刊「武州路」 8 月号</p> <p>サンデー毎日 9 月 10 日号</p>
<p><地域情報誌・フリーペーパー等></p> <p>リビング新聞 7 月 15 日</p> <p>情報誌ぱど 9 月 8 日発行号</p> <p>月刊 ezpress 8 月号</p>	

<WEB>

ホルバインアーティストナビ
個展ナビ
アートアジェンダ
練馬情報メール
インターネットミュージアム
タイムアウト東京
Pen Online

ぶらり美術館
G-Call
SPICE (イープラス)
Share Art
ART NAVI
JR 東日本「駅たびnet」
JR 西日本「おでかけネット」
日本美術倶楽部

<その他>

新制作協会広報誌 夏号
練馬区報 7月11日号

東京新聞くらしのカレンダー8月
貫井図書館だより 7月号 vol.25
貫井図書館美術パスファインダー17

「没後 20 年 麻田浩展 —静謐なる楽園の廃墟—」

(平成 29 年 9 月 28 日～11 月 19 日)

<p><テレビ> J:com 「デイリーニュース (練馬・新座・和光)」 10 月 20 日放送 18:00～18:30</p>	
<p><新聞> 日本経済新聞 9 月 25 日朝刊・9 月 29 日夕刊・10 月 4 日夕刊・10 月 5 日夕刊・10 月 16 日朝刊 毎日新聞 10 月 25 日夕刊 東京新聞 10 月 27 日朝刊 朝日新聞 11 月 14 日夕刊</p>	
<p><美術雑誌> 美術の杜 vol.44 月刊ギャラリー 2017 年 9 月号 美術展びあ 2017 秋冬 PB 2017 年 9 月 15 日発売 新美術新聞 2017 年 9 月 21 日号 アートコレクターズ 2017 年 11 月号 一枚の繪 2017 年 11 月号</p>	<p><雑誌> 究極漢字 2017 年 11 月号 季刊『住む』 2017 年秋号 IZANAGI 2017 年 10 月号 月刊武州路 2017 年 9 月号・10 月号・11 月号</p>
<p><地域情報誌> びいーゆ 2017 年 9 月号</p>	<p>カンフェティ 2017 年 10 月号</p>
<p><WEB> G-CALL SPICE アートアジェンダ ShareArt 個展なび ART NAVI (美術手帖) 今見られる全国のおすすめ展覧会 100</p>	<p>ホルベインアーティストナビ myLiFE+ インターネットミュージアム ぶらり美術館 Penonline</p>
	他

「小野木学 絵本原画展 ぼくの中のコドモ」

(平成 29 年 11 月 26 日～平成 30 年 2 月 11 日)

<テレビ> J:com 「デイリーニュース (練馬・新座・和光)」 12 月 7 日放送 18:00～18:30	
<新聞> 陸奥新報 11 月 29 日	
<美術雑誌> 美術の窓 2017 年 12 月号	<雑誌> 月刊 MOE 2018 年 1 月号 いけ花 龍生 2018 年 1 月号
<地域情報誌> びいーゆ 2017 年 12 月号	カンフェティ 2017 年 10 月号
<WEB> shareArt アートアジェンダ 個展ナビ 東京観光財団 ぶらり美術館 JR 東日本「駅たび net」観光スポット・ イベント情報 (東日本のみ) JR 西日本「おでかけネット」観光スポ ット・イベント情報 (西日本・首都圏エリ アのみ)	
株式会社リクルート「じゃらん net」観光ガイド インターネットミュージアム Patina (パティーナ)	
他	

「練馬区名誉区民顕彰記念 野見山暁治 収蔵作品展」

(平成 29 年 12 月 20 日～平成 29 年 12 月 27 日)

<p><新聞> 赤旗新聞 12月8日</p>
<p><美術雑誌> 美術の窓 2018年1月号</p>
<p><WEB> 練馬経済新聞 タイムアウト東京 みんなの経済新聞 J:com 練馬人図鑑</p> <p>嘉中・嘉穂高等学校関東地区同窓会ホームページ 一般財団法人 野見山暁治財団 ホームページ 他</p>

練馬区独立 70 周年記念展「サヴィニャック パリにかけたポスターの魔法」

(平成 30 年 2 月 22 日～平成 30 年 4 月 15 日)

<p><テレビ></p> <p>J:com 「デイリーニュース (練馬・新座・和光)」 2 月 23 日放送</p> <p>NHK E テレ 「日曜美術館 アートシーン」 4 月 8 日放送</p> <p>練馬放送 HP およびスマートフォンによる TunelnRadio「練馬アート+ミュージアム」</p>	
<p><新聞></p> <p>TheJapanTimes (1/21)</p> <p>生涯学習新聞(1/3)</p> <p>東京新聞 (2 月 22 日朝刊)</p> <p>朝日新聞 (2 月 20 日夕刊)</p> <p>読売新聞 (1 月 11 日朝刊)</p> <p>読売新聞 (2 月 15 日朝刊)</p> <p>毎日新聞 (2 月 23 日朝刊)</p> <p>日本経済新聞 (3 月 1 日 朝刊)</p> <p>リビング新聞 (3 月 3 日)</p> <p>モルゲン (月刊新聞) (3 月 7 日)</p> <p>読売新聞 (シティーライフ) (3 月 27 日 夕刊)</p>	
<p><美術雑誌></p> <p>美術展ぴあ 2018(12/29)</p> <p>美術の窓(1/20・3/20)</p> <p>アートコレクションハウス発行会報誌</p> <p>arch(2/1)</p> <p>月刊美術(3/20)</p> <p>「月刊ギャラリー」(3/1)</p> <p>芸術新潮(2/25)</p> <p>2018 美術展完全ガイド (12/7)</p>	<p><雑誌></p> <p>IZANAGI (いざなぎ) (12/20)</p> <p>JR 東海 PR 誌「ひととき」(2 月号)</p> <p>びいーゆ(2/1)</p> <p>月刊 MOE(2/2)</p> <p>懸賞なび(1/22)</p> <p>経済界(2/22)</p> <p>エクラ(3/1)</p> <p>OZmagazine(3/12)</p> <p>NumeroTOKYO (4 月号 2/28)</p> <p>ブレーション (3/31)</p> <p>月刊「武州路」(1/20)</p> <p>SPUR (3/28)</p> <p>UOMO (3/24)</p> <p>週刊ポスト (3/17)</p> <p>週刊 SPA! (3/27)</p>
<p><WEB></p> <p>ShareArt(11/27)</p> <p>アートアジェンダ(11/25)</p> <p>Studio ris pairka(1/10)</p> <p>ウォーカープラス(2/10)</p>	<p>T-SITE ニュース(11/29)</p> <p>個展なび(11/26)</p> <p>Fashionsnap.com(11/24)</p> <p>JR 東日本えきネットじゃらん・JR 西日本 おでかけネット(12/20)</p>

<p>クリエイターズステーション(12月 ジピーエーHP (12月) 美術館情報サイト「ぶらり美術館」(1/24) インターネットミュージアム (1月) ウェブ版「美術手帖」(2/14) Pen Online (2/21) JDN (ジェイディーエヌ) (3月) 練馬おすすめニュース (2月) コンフォルトウェブマガジン (2/13) WEB マガジン「アートスケープ」(4/1号) Milk JAPON WEB(3月下旬) ライフスタイルマガジン「キナリ」(3月中) SPUR オンラインメディア (3月中) SPICE 編集部イープラス (3月中) 博報堂ケトルアートニュース (3月中)</p>	<p>ホルベインアーティストナビ (1月) リビング東京 WEB (2/15) CINRA ぴあ映画生活(2/5) ぴあポイント (2月) 週刊てりとりい (3/1) 東京観光公式サイト GO TOKYO(1月) ARTLOGUE(2月) 美術手帖 (ART NAVI) 楽活 JP/アートブログ (2月) Pen online (2/21) おうち収納・com イベントストレージ (3 月下旬) アートスケープ (4/1) コスメキッチンメールマガジン (4/5)</p>
<p><その他> 練馬区報 2月11日号 庁内モニター・区公式ツイッター 貫井図書館 (1/5 掲示・パステルコーナー) NERICUL 2018SUMMER (12/22)号) ポスター (加島美術): 動物シリーズ 講演会チラシ (練馬区立はつらつセンター) ねりまファミリーパック (2/19) 京王線駅貼り (1/29~3/25 新宿、下北沢、 渋谷)</p>	<p><フリーペーパー> MYTOWN(12/15) ホットッペッパービューティー(2/23) 東京リビング (2/15) くらしの窓新聞社 (2/25) ガイドブックことりっふ</p>

2 平成30年度事業計画

(1) 展覧会事業日程

3階展示室			2階展示室		
会期	展覧会名	担当	会期	展覧会名	担当
4月26日 6月17日 <46日間>	【有料】 戦後美術の現在形 池田龍雄展—楯岡幻想				喜夢
6月22日 7月1日 <9日間>	【無料】 第64回練馬区美術家協会展		6月22日 7月29日 <33日間>	【有料】 生誕120年 中村忠二展 オオイナ ルシユウネン	真子
7月3日 7月29日 <24日間>	(一般貸出)				
8月5日 9月24日 <44日間>	【有料】 芳年—激動の時代を生きた鬼才浮世絵師				加藤
10月7日 11月25日 <43日間>	【有料】 笠井誠一展 —形の世界—				真子
12月1日 1月10日 <24日間>	(一般貸出)				
1月12日 1月16日 <4日間>	中学校生徒作品展		12月1日 2月11日 <58日間>	【有料】 人間国宝・桂盛仁 金工の世界— 江戸彫金の技—	加藤
1月19日 1月24日 <5日間>	小学校連合図工展				
1月26日 1月27日 <2日間>	小中学校連合書きぞめ展				
2月2日 2月11日 <9日間>	【無料】 第50回練馬区民美術展				
2月24日 4月21日 <49日間>	【有料】 ラリック・エレガンス 宝飾とガラスのモダンティ—ユニマットコレクション—				小野

① 戦後美術の現在形 池田龍雄展—楕円幻想 開催要項

- 1 開催趣旨 1928年に佐賀県伊万里市に生まれた池田龍雄は、特攻隊員として訓練中に敗戦を迎えます。占領期に故郷の師範学校に編入しますが、軍国主義者の烙印をおされ追放にあいました。戦中から戦後の大きな価値の転回に立ち会い、時代に振り回され続けたこの体験が、池田の原点を形作りました。
- 1948年、画家を目指して上京した池田は、岡本太郎や花田清輝らによる〈アヴァンギャルド芸術研究会〉に飛び込みます。以後、文学、演劇、映像とジャンル横断的に繰り広げられる戦後美術のなかで、多彩な芸術家や美術批評家と交わりながら、自らの制作活動を展開していきます。
- 個人として厳しく社会と向き合いながら、一個の生命として宇宙の成り立ちを想像する。90歳を目前に控えたいまもお歩み続ける彼の画業は、時代と切り結び思考する苦闘の足跡であり、戦後から現在にいたる日本の美術や社会のありようを映し出しています。
- 練馬区立美術館では1997年に「池田龍雄・中村宏」展を開催しており、今回は練馬では20年ぶりの池田龍雄回顧展となります。本展では、50年代から第一線で活躍し続ける池田の作品に息づく、戦後美術の現在形に迫ります。
- 2 会 期 平成30年4月26日(木)～6月17日(日)
- 3 主 催 練馬区立美術館、朝日新聞社
- 4 内 容 ペン画、油彩、アクリル、オブジェ等 180点
- 5 図 録 制作
- 6 観 覧 料 800円
- 7 イベント 対談(池田龍雄、鳥羽耕史)、講演会(光田由里)、小林嵯峨舞踏公演、学芸員によるギャラリートーク、ワークショップ、記念コンサート
- 8 観覧者数 6,704人 (146人/日)
- 9 担 当 学芸員 喜多 孝臣

② 生誕 120 年 中村忠二展 オオイナルシュウネン 開催要項

- 1 開催趣旨 中村忠二（1898～1975）は、兵庫県飾磨郡御立村（現姫路市）に生まれ、20歳で上京。各地を転々としながら制作を続け、晩年の20年間を練馬区貫井で過ごした作家です。1919年日本美術学校に入学するも翌年退学、日本水彩展や光風会、国画会に出品しながら洋画団体「歩人社」や「トアル社」などを結成し、精力的に活動を行いました。1958年に友人・水波博の影響を受けてモノタイプ（ガラスや金属に描画して紙に転写する版画技法）の研究を始め、忠二でなければできないといわれるほどの大作も生み出しました。また自身の詩と絵を組み合わせた詩画の制作にも精力的に取り組み、生前5冊の詩画集を自費出版しています。一見荒々しい筆致ながらも繊細で叙情豊かな作品世界は、今もなお多くの人をひきつけています。
- 死後3年で故郷の兵庫県立近代美術館が「ある画家の生涯と芸術展—中村忠二—」を、また1997年には姫路市立美術館で「中村忠二展」が開催されましたが、関東でのまとまった展覧会は今まで開かれていません。2018年は生誕120年に当たり、練馬ゆかりの作家中村忠二の作品を紹介する、またとない機会となるでしょう。
- 2 会 期 平成30年6月22日（金）～7月29日（日）
- 3 主 催 練馬区立美術館
- 4 内 容 油彩画、水彩画、モノタイプ版画等 約60点
- 5 図 録 制作
- 6 観 覧 料 300円
- 7 イベント 学芸員によるギャラリートーク、ワークショップほか
- 8 観覧者数 2,986人（90／日）
- 9 担 当 学芸員 真子 みほ

③ 芳年—激動の時代を生きた鬼才浮世絵師 開催要項

- 1 開催趣旨

月岡芳年（天保十年～明治二十五年・一八三九～一八九二）は江戸に生まれ、十二歳で武者絵の名手、歌川国芳に入門。幕末は武者絵を中心に、美人画、戯画など師の風に倣った作品を発表してきましたが、明治維新のきな臭い時代背景を通して、武者絵からリアルな戦闘画へと変化を見せます。この頃の作品をして”血みどろ絵“、“無惨絵“の芳年としたイメージが後世まで強く持たれてきました。一時期、神経を病んでいたこともこうした印象に拍車をかけていたのかもしれませんが。しかし、それは一時のことで、”大蘇“と名乗り出してからは、新聞挿絵や西南戦争に取材した作品、歴史画・風俗画などで、人気浮世絵師への階段を一気に駆け上ります。晩年の十年間に描いた錦絵は芳年画を印象付ける名作・代表作揃いで、最期まで武者絵や物語絵の可能性にこだわり続けた、まさに”最後の浮世絵師”と呼ぶにふさわしい画業を展開しました。

そうした幕末・明治の浮世絵の泰斗と呼ぶにふさわしい芳年ですが、その画業を回顧する展覧会は意外と少なく、未だ、しっかりと位置づけが行われていないと言って過言ではありません。

この展覧会は芳年のコレクションとしては質量ともに世界屈指といえる、西井正氣氏の収蔵品の中から選りすぐりの263点で、芳年の画業の全貌を紹介するもので、十五年ぶり、まさに待望の公開となるものです。
- 2 会 期 平成30年8月5日（日）～9月24日（月・祝）
- 3 主 催 練馬区立美術館、日本経済新聞社
- 4 内 容 錦絵版画、肉筆画、油彩画など 約263点
- 5 図 録 『芳年—激動の時代を生きた鬼才浮世絵師』
- 6 観 覧 料 1,000円
- 7 イベント 記念講演会、浮世絵版画摺りの実演、コンサート、ギャラリートークほか
- 8 観覧者数 17,668人（401人/日）
- 9 担 当 学芸員 加藤 陽介

④ 笠井誠一展 ―形の世界― 開催要項

- 1 開催趣旨 笠井誠一（1932～）は、札幌市に生まれ、東京と名古屋を中心に活躍してきた油彩画家です。17歳で上京し、練馬区内に居住。都立石神井高校、阿佐ヶ谷洋画研究所夜間部に通い、1953年東京藝術大学美術学部絵画科（油画・伊藤廉教室）に入学します。絵画科卒業、専攻科修了後は同大で副手を務めた後、1959年フランス政府給費留学生に合格。パリに渡りました。パリでは国立高等美術学校（エコール・デ・ボザール）のモーリス・ブリアンション教室で学び、サロン・ドートンヌに入選、フランス政府買い上げとなるなどの活躍を見せました。
- 66年の帰国後は、愛知県立芸術大学で教鞭を執る（～1998年）と同時に東京都八王子市にアトリエを構え、東京・愛知を往復する日々が始まります。70年代後半より、現在につながる静物画を中心とした制作が固められ、また85年以降は立軌会に同人として参加しています。
- 笠井は、楽器や日用品などのモチーフを、室内に配した静物画で知られていますが、本展では初期の風景画や人物画から始まり、現在までの笠井の画業を辿ると共に、アトリエで使用されているモチーフや資料などから、作家の緻密な構図を紐解いていきます。
- 2 会 期 平成30年10月7日（日）～11月25日（日）
- 3 主 催 練馬区立美術館
- 4 内 容 油彩画、資料等 約120点
- 5 図 録 制作
- 6 観 覧 料 800円
- 7 イベント 笠井誠一氏、学芸員によるギャラリートーク、ワークショップほか
- 8 観覧者見込 9,030人(210人／日)
- 9 担 当 学芸員 真子 みほ

⑤ 人間国宝・桂盛仁 金工の世界—江戸彫金の技— 開催要項

- 1 開催趣旨

桂盛仁（1944 生）は長年に亘り練馬区に在住し制作を続けている、人間国宝に認定された金工作家です。

江戸時代初期から続く彫金の一派、柳川派の流れを汲み、明治・大正・昭和期かけて、煙草入れなど装身具の彫金で大人気を博した豊川光長、桂光春を輩出した流派で、伯父である光春を継いだのが盛仁の父、桂盛行（1914-96）となります。

父、盛行のもとで修行した桂盛仁は打ち出しや彫刻、色金と色絵等の技法を駆使し、日本伝と工芸展などで高い評価を得てきました。宮内庁買い上げ、文化庁長官賞を受賞するなど研鑽を積み、2008 年に重要無形文化財「彫金」保持者（人間国宝）に認定されています。

昨今、明治期の卓越した工芸作品を”超絶技巧“と称し、ロストテクノロジーとしての評価がなされてきていますが、そうした工芸の技術は脈々と受け継がれてきていることは、柳川派、桂派、そして桂盛仁の金工を見ると明らかです。

この展覧会では、桂盛仁の初期から近作までを通観するとともに、桂のルーツである、盛行、そして、豊川光長、桂光春の作品も併せて展示し、今に生き続ける江戸金工の技を再認識する展覧会です。
- 2 会 期 平成 30 年 12 月 1 日（土）～平成 31 年 2 月 11 日（月・祝）
- 3 主 催 練馬区立美術館
- 4 会 場 練馬区立美術館 2 階展示室
- 5 内 容 金工作品、道具など 50 点
- 6 図 録 制作予定
- 7 観 覧 料 300 円
- 8 イベント 記念講演会、ギャラリートーク、ワークショップ ほか
- 9 観覧者見込 8,120 人（140 人/日）
- 10 担 当 学芸員 加藤 陽介

⑥ ラリック・エレガンス

宝飾とガラスのモダニティ ―ユニマットコレクション― 開催要項

- 1 開催趣旨 ユニマットホールディングの創業者である高橋洋二氏は、洋の東西を問わず様々な美術品を蒐集し、コレクションを築き上げています。西洋美術コレクションは、ルノワールなどの近代絵画、ヴェネチア・ガラスや香水瓶、ルネ・ラリックのガラス作品、さらには古代ギリシア美術など多岐に渡っています。

このコレクションから、本展では、20世紀初頭のアール・デコを代表するルネ・ラリックに着目し、その世界観に迫ります。ラリックは、宝飾デザイナーから始まり、やがてガラス工芸作家となります。彼は、花瓶、置時計、アクセサリ、香水瓶などを制作し、1920年代には大変な人気作家として広く認知されていました。1925年のパリで開催された現代装飾美術・産業美術展ではパヴィリオンを与えられ、まさにアール・デコ様式を牽引する存在として、世界中にその名を轟かせることとなります。日本とも関係が深く、1932年に旧皇族の朝香宮邸（現在の東京都庭園美術館）のシャンデリアなどを手掛けています。

高橋氏のラリック・コレクションから、ガラス作家として活躍したラリックの1910年代から40年代までの約150点を紹介します。

- 2 会 期 平成31年2月24日（日）～4月21日（日）
- 3 主 催 練馬区立美術館
- 4 展 示 ガラス工芸など 約150点
- 5 図 録 制作
- 6 観 覧 料 800円
- 7 イベント 記念講演会、コンサート、ギャラリートークほか
- 8 観覧者見込 12,500人（250人／日）
- 9 担 当 学芸員 小野 寛子

(3)教育普及事業

平成30年度 教育普及事業計画

平成30年11月1日現在

館内事業

I) 展覧会関連 (各展覧会を楽しむ)

① 関連ワークショップ・講座

	事業名	開催予定日	回数	対象	定員	参加
1	池田龍雄展関連ワークショップ「部屋の中＝箱の中 -美術館にあるものを、並べて/重ねて/繋げてみる-」 講師: 富井大裕 (アーティスト)	5月20日(日) 10:30~12:30、14:00~16:00	2	小学生以上	各回 15名	22
3	中村忠二展関連ワークショップ 「忠二の言葉とあなたの絵 言葉+絵の小品作り」 講師: 真子 みほ (当館学芸員)	7月7日(土)【A】10:30~11:30 【B】13:30~14:30 【C】15:00~16:00 7月8日(日)【D】10:30~11:30 【E】13:30~14:30 【F】15:00~16:00	6	小学生	各回 15名	15
2	中村忠二展関連美術講座「モノタイプ版画」 講師: 山口 茉莉 (版画家)	【A】7月14日(土)10:30~17:00 【B】7月15日(日)10:30~17:00	2	中学生以上	各回 15名	30
4	芳年展関連ワークショップ 「芳年の色を見つけよう! -鑑賞と絵具遊び-」 講師: 真子みほ(当館学芸員)	8月14日(火)【A】10:30~12:30 【B】14:00~16:00 8月15日(水)【C】10:30~12:30 【D】14:00~16:00	4	小学生	各回 10名	28
5	芳年展関連美術講座 「描いて!彫って!摺って! -水彩多色木版画をつくらう-」 講師: 内山 良子 (版画家)	8月16日(木)~17日(金) 10:30~17:00	1 (2日間)	小学5年生~ 中学生	15名	5
6	芳年展関連ワークショップ「多色木版の摺り体験とうちわ 作り!」 講師: 高橋由貴子 (創業安政年間高橋工房主宰)	8月19日(日)【A】10:30~12:30 【B】14:00~16:00	2	小学4年生以 上	各回 20名	36
7	笠井誠一展関連 貫井図書館×練馬区立美術館ワーク ショップ「モチーフの型を使って絵を作ろう! 組み合わせ で広がる静物画の世界」 講師: 藤田 百合(女子美術大学特命助教、エデュケーター)	10月21日(日)13:30~16:30	1	小学生以上	30名	—
8	桂盛仁展関連当日受付ワークショップ 「金属の板であそぼう! 切ったり曲げたり穴を開けたり」 講師: 真子 みほ (当館学芸員)	1月19日(土)、20日(日) 10:30~11:30、13:30~14:30、 15:00~16:00	6	小学生以上	各回 10名	—
9	桂盛仁展関連美術講座 「響け槌音! 金属をたたいて器を作ろう!」 講師: 田村尚子(彫金)	【A】2月2日(土)10:30~17:00 【B】2月3日(日)10:30~17:00	2	中学生以上	各回 8名	—
10	ラリック・エレガンス展関連美術講座「ガラス工房見学と」 講師: 工藤直(女子美術大学教授)	3月2日(土)	2	中学生以上	各回 8名	—

② ギャラリートーク

	事業名	開催予定日	回数	対象	定員	参加
1	池田龍雄展	5月24日(木)、6月7日(木) 15:00~	2	自由参加	—	80
2	中村忠二展	6月30日(土)14:00~	1	自由参加	—	35
3	芳年展	8月30日(木)、9月13日(木) 15:00~	2	自由参加	—	186
4	笠井誠一展	10月27日(土)14:00~	1	自由参加	—	37
5	桂盛仁展	12月5日(土)、1月12日(土) 14:30~	2	自由参加	—	—
6	ラリック・エレガンス展	2~3月	2	自由参加	—	—

③ コンサート・ライブパフォーマンスなど

	事業名	開催予定日	回数	対象	定員	参加
1	池田龍雄展関連舞踏講演 出演:小林嗟峨(舞踏家)	5月18日(金)17:00～	1	自由参加	—	84
2	池田龍雄展関連映画上映会 『薔薇の葬列』『The Painter』	5月19日(土)14:00～17:00	1	中学生以上	50名	47
3	池田龍雄展関連記念コンサート 出演:近藤伸子(ピアノ)、佐藤まどか(ヴァイオリン)	5月27日(日)15:00～16:00	1	自由参加	—	113
5	芳年展 長月落語会—芳年によせて 出演:林家正雀	9月2日(日)18:30～	1	中学生以上	60名	50
6	笠井誠一展 記念コンサート 出演:守重結加(ピアノ)、山口徳花(チェロ)	11月7日(日)15:00～16:00	1	自由参加	—	—
7	桂盛仁展 特別コンサート 出演:伊藤万桜(ヴァイオリン)、山崎早登美(ピアノ)	12月22日(土)18:20～19:30	1	—	50名	—
8	ラリック・エレガンス展	3月2日(土)14:00～	1	—	—	—

④ 鑑賞プログラム

	事業名	開催予定日	回数	対象	定員	参加
1	中村忠二展関連 トコトコ美術館vol.24 テーマ:むし 講師:真子 みほ (当館学芸員)	6月23日(土)【A】10:30～12:00 【B】14:00～15:30 6月24日(日)【C】10:30～12:00 【D】14:00～15:30 7月1日(日)【E】10:30～12:00 【F】14:00～15:30	6	3歳～6歳 +保護者 小学1・2年生 +保護者	各回 5組	36
3	笠井誠一展関連 あかちゃんと家族の鑑賞会 講師:真子 みほ (当館学芸員)	10月28日(日)【A】10:30～12:00 【B】14:00～15:30	2	0～2歳の赤 ちゃんとその 家族	各回 15名	22
2	笠井誠一展関連 トコトコ美術館vol.25 テーマ:がっき 講師:真子 みほ (当館学芸員)	11月10日(土)【A】10:30～12:00 【B】14:00～15:30 11月11日(日)【C】10:30～12:00 【D】14:00～15:30	4	3歳～6歳 +保護者	各回 5組	—
4	桂盛仁展関連 トコトコ美術館vol.26 テーマ:きんぞく 講師:真子 みほ (当館学芸員)	1月26日(土)【A】10:30～12:00 【B】14:00～15:30 1月27日(日)【C】10:30～12:00 【D】14:00～15:30	4	3歳～6歳 +保護者	各回 5組	—

⑤ 講演会など

	事業名	開催予定日	回数	対象	定員	参加
1	池田龍雄展記念対談 「池田龍雄を貫くもの—ルポルタージュからパフォーマンス、オブジェまで」 登壇:池田 龍雄、鳥羽 耕史(早稲田大学文学学術院教授)	5月12日(土)15:00~16:30	1	中学生以上	70名	64
2	池田龍雄展記念講演会 「池田龍雄、反芸術以降」 講師:光田 由里(DIC川村記念日術館学芸員)	6月9日(土)15:00~16:30	1	中学生以上	70名	84
4	芳年展記念講演会 「芳年のこと、コレクションのこと—日本画家として」 講師:西井正氣(本展コレクター、日本画家) 聞き手:加藤陽介(当館学芸員)	8月5日(日)13:30~15:00	1	中学生以上	70名	71
5	芳年展記念講演会 「月岡芳年VS落合芳幾—宿命のライバル」 講師:日野原 健司(太田記念美術館学芸員)	8月11日(土・祝)14:30~16:00	1	中学生以上	70名	61
6	笠井誠一展記念対談 「笠井誠一の造形的姿勢について」 登壇者:笠井誠一、本江邦夫(多摩美術大学教授)	10月13日(土)15:00~16:30	1	中学生以上	70名	50
7	笠井誠一展記念対談 「笠井誠一の造形的姿勢について」 登壇者:笠井誠一、入江観(画家)	10月14日(日)15:00~16:30	1	中学生以上	70名	60
8	ラリック・エレガンス展講演会	3月	未定	中学生以上	70名	—

Ⅱ) 美術講座 (美術に関する知識を学ぶ)

	事業名	開催予定日	回数	対象	定員	参加
1	〈美術講座〉アニメーション 講師:アトリエドワーフ	3月	1	中学生以上	50名	—

Ⅲ) 美術館を楽しむワークショップ(人が集う「場」作り)

	事業名	開催予定日	回数	対象	定員	参加
1	美術館をつかまえる!?館内探検とフロッタージュ 講師:真子 みほ(当館学芸員)	7月28日(土)【A】10:30~12:00 【B】14:00~15:30 29日(日)【C】10:30~12:00 【D】14:00~15:30	4	5歳~ 小学2年生	各回 10名	29
2	四季のみじたくシリーズ37秋のみじたく 講師:中澤季絵(イラストレーター)	9月16日(日)10:30~16:00	1	小学4年生 以上	16名	11
3	四季のみじたくシリーズ38 冬のみじたく 講師:サンカクキルト	11月	1	小学4年生 以上	16名	—
4	四季のみじたくシリーズ39 春のみじたく 講師:麻生順子(羊毛フェルト作家)	3月	2	小学3年生 以上	各回 10名	—

学校関連事業

I) スクールプログラム

パンフレットを作成し各学校に配布。

① 団体鑑賞	美術館担当者がマナーの説明や展示解説を行い鑑賞のお手伝いをする
② 施設見学	各学校の学習目的に合わせて館内(バックヤードを含む)を案内し、施設を紹介する
③ 職場体験・訪問	受付や事務、監視、学芸などいくつかの仕事を体験させ、美術館全体の役割を伝える
④ 出張プログラム	担当者が学校へ赴きコレクションや開催中の展覧会に関連した授業のお手伝いをする

II) ティーチャーズディ

当館及び当館主催の展覧会を、授業等で活用していただくために、区内の小中高等学校の先生を対象とした展覧会鑑賞日を設ける。

各回ともに展示担当学芸員(または教育普及担当)による展示解説を30分程度行い、その後は自由鑑賞とする。

平成30年度は6回開催する。

	展覧会名
1	池田龍雄展
2	中村忠二展
3	月岡芳年展
4	笠井誠一展
5	桂盛仁展
6	ラリック・エレガンス展

III) スクールミュージアム

美術館の所蔵作品を学校の授業に役立ててもらうため、紙製の図版カード(トランプ大)、マグネットシート(A4版/A3版)、専用パネルの貸し出しを行う。これらのツールは、平成18年文化庁芸術拠点形成事業助成を受け、当館の所蔵作品から104点を選出し、作成された。